

第 13 章 情報システム	114
1. 概要	114
2. 具体的取組	114

第13章 情報システム

1. 概要

経済産業行政の実施に当たり、創造的、機動的及び効率的に日常の業務が実施でき、また、組織の合理化を図れるような情報システム環境を整備することが重要な課題である。

経済産業省としては、「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」に沿って、業務の見直しも踏まえた省内業務の効率化・スリム化に資する情報システム環境の整備を行うとともに、国民の皆様に向けては、より利便性の高い公共サービスを提供し、利用者中心のサービスを提供する。また、セキュリティの強化は、国家安全保障・危機管理のみならず、国際競争力強化等のためにも不可欠なものであり、引き続き、強靱で活力あるサイバー空間を構築する。

2. 具体的取組

2. 1. 経済産業省情報基盤の改善

2018年2月に基盤情報システムを更改し、機能改善を実施した。具体的には、カメラを内蔵した軽量のPCを導入し、PCフォン、Web会議機能を提供するとともに、リモートアクセス機能の充実を図り、テレワーク及び災害時の防災業務を強化した。

2. 2. 情報セキュリティ対策等の充実・強化

(1) 情報管理に係る運用手続の策定や体制の整備

2018年2月の基盤情報システムの更改に伴い、認証機能等のセキュリティ対策の強化、運用の見直しを行った。

(2) 情報セキュリティ対策研修

2016年度に引き続き、職員向けの集合研修において、情報セキュリティをカリキュラムに取り入れるとともに、全職員向けにe-learningによる情報セキュリティ研修を実施した。

(3) 標的型メール訓練

2017年11、12月に、省内職員を対象に標的型メールを模倣した訓練メールを配信し、訓練メールを開いた職員に対し、標的型メール攻撃に関する教育用資料を閲覧

させるなど、訓練効果を高める対策を実施した。

(4) 情報セキュリティ対策の自己点検

2016年度に引き続き、「経済産業省情報セキュリティ管理規程」に基づき、全職員を対象に「経済産業省情報セキュリティ対策基準」において規定されている情報セキュリティ対策に係る遵守事項が的確に実施されているか自己点検を行った。

(5) 情報セキュリティ監査

2016年度に引き続き、「経済産業省情報セキュリティ管理規程」に基づき、各種情報セキュリティ対策の実施状況を確認するため、第三者による情報セキュリティ監査を実施した。

具体的には、「経済産業省情報セキュリティポリシー」と各実施手続等との準拠性監査、各種システムの運用時における情報セキュリティ対策実施状況の監査等を実施した。

(6) セキュリティ・IT人材確保・育成計画

政府機関におけるセキュリティ・IT人材育成総合強化方針に基づき作成した「セキュリティ・IT人材確保・育成計画」の下、人材の確保・育成を図るべく、セキュリティ対策に係る体制強化等、同計画に示した施策を着実に実施した。

2. 3. オンライン利用環境の高度化

経済産業省では、2003年度末以降「e-Japan 重点計画」に基づき、申請・届出等の手続を「経済産業省汎用電子申請システム（ITEM2000）」によりオンラインで受け付けていたが、技術的にも、その機能についても陳腐化していたばかりでなく、旧来の技術を使用し続けることにより、メンテナンスに係る負荷やコストが増大していたことから、情報システムに係る技術の進展等環境の変化を踏まえ、2014年3月に「経済産業省電子申請受付・審査等管理システム（sacra）」を構築、運用を開始した。その後は、安定かつ継続的な運用をしている。

2017年度は、「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」に基づき、「オンライン手続の利便性向上に向けた改善方針」において示された方針にしたが

って、政府共通プラットフォームへ移行し3月から運用を開始した。

「各府省共通の旅費、謝金・諸手当及び物品管理の各業務に係るシステム（SEABIS）」については、経済産業省が設計・開発を行い、2014年度から本府省等で運用を開始した。2017年度は、2020年に予定されている政府共通プラットフォームの更改に合わせ、ユーザーニーズを踏まえたシステム改修の方向性を検討した。